

# 創造 おおいた

Oita Prefectural Organization  
for Industry Creation

創造おおいた

Creation Oita  
No.278  
2024.6

発行日 令和6年6月1日発行(毎月1回発行)

発行者

公益財団法人 大分県産業創造機構 大分市東津田町17番20号VTCバウンディングビル

TEL:097-533-0220 FAX:097-538-8407

印刷所

株式会社 コミュニケーションズ

中小企業の皆様へ

・ご相談はできるだけお早めに!

・ご相談は無料!

・秘密は厳守!

事業の経営改善・  
再生をサポートします!



写真提供: 大分市

## 【窓口相談】

中小企業の経営課題に幅広く対応

## 【収益力改善支援】

現状の課題・問題点を分析して収益力改善の計画策定を支援

## 【事業再生支援】

過剰債務を抱えて一時的に経営が悪化しているが、財務・事業の見直しにより再生可能な中小企業を支援

## 【再チャレンジ支援・保証債務整理への支援】

経営者の再スタートのための助言や専門家を紹介

経営者保証ガイドラインに基づく保証債務の整理支援

経営のお悩みをお聞かせください

あなたの会社の**経営改善**を支援します。

## 大分県中小企業活性化協議会とは

産業競争力強化法に基づき九州経済産業局から委託を受け、大分県商工会連合会が事業運営する公正中立な公的機関です

### 資金繰り

- ・資金繰りが不安
- ・資金繰り表を作ったことがない
- ・税金・社会保険料等の滞納が発生してしまった

### 経営相談

- ・経営環境の変化により、業績が悪化してしまった
- ・どっぷり勘定で管理に不安がある
- ・漠然と今後どうすればいいのか不安だ

### 金融機関対応

- ・金融機関にどのように相談をしていいかわからない
- ・金融機関から融資が受けにくくなった
- ・過剰債務で金融機関への返済が厳しくなってきた

### 事業承継・廃業

- ・従業員のためにも事業を承継したい
- ・廃業の仕方がわからない
- ・事業承継や廃業にあたり、個人保証がどうなるか心配

大分県中小企業活性化協議会へお気軽にご相談ください。

大分市金池町3-1-64【大分県中小企業会館 6階】

TEL:097-540-6415 FAX:097-537-8577



←スマートフォンの方はこちらから <https://oita-kyogikai.go.jp>

ご相談無料・守秘義務厳守

## トップインタビュー

Top Interview

三和酒類株式会社

代表取締役社長 西 和紀氏



## 企業紹介

Company Profile

有限会社 盛商

代表取締役 工藤 陽一氏



## アトツギたちの挑戦

有限会社 中津清潔社

有限会社 寿浄化槽センター

株式会社 なかつ空き家管理サポート

代表取締役 原 彩乃氏



# アツギたちの挑戦

## ～事業承継でさらなる成長～

有限会社 中津清潔社  
有限会社 寿浄化槽センター  
株式会社 なかつ空き家管理サポート



代表取締役 原彩乃 氏

### 地域の暮らしを支え続けて58年。3代目が空き家の清掃・管理事業にも挑戦。

中津市で50年以上の歴史を持つ有限会社中津清潔社（し尿汲み取り業）と、有限会社寿浄化槽センター（浄化槽の清掃・保守点検業）を受け継いだ3代目・原彩乃さん。大手外資系企業を退職し、未知の業界で一から学んで奮闘するかわら、社会問題となっている空き家の放置対策として、空き家の維持管理や家財整理を行う新会社も設立。100年先も地域に愛され続ける企業を目指し、チャレンジを続けている。

#### ■人生をリセットして 家業を受け継ぐことを決断

事務所に入ったとたん、社員の皆さんがさっと立ち上がってさわやかな笑顔とあいさつで迎えてくれる。気持ちのいい会社だなあ、というのが第一印象だ。

代表取締役の原彩乃さんは、2022年2月、曾祖母、祖母と受け継がれてきた事業を承継した。曾祖母が中津清潔社を創業し、し尿汲み取りの事業を始めたのが1966年。これを受け継いだ祖母が、1990年に浄化槽の維持管理を行う寿浄化槽センターを設立した。

現在も地域に根ざし、一般・産業廃棄物収集運搬業者として、一般家庭の浄化槽維持管理から、事業所のグリストラップ清掃まで、幅広く手掛けている。地域の暮らしを衛生的かつ快適に保つため、いわば「縁の下の力持ち」として、半世紀以上にわたり、中津市の生活インフラを守り続けてきた。

「家業を継ぐ気は一切なかった」という原さん。人生の選択肢を広げたいという想いから、東京の大学に進学し、卒業後は大手の外資系製薬会社に就職。常に高い成果が求められる環境で、がむしゃらに仕事に向き合い、30歳を迎える頃にはDX推進事業のリーダーを任されるまでになった。

子宝にも恵まれ、原さんにとってまさに「理想の人生」を歩んでいたさなか、ある日突然、祖母から「中津に戻って会社を継いでほしい」と言われ、人生の岐路に立たされる。後継ぎ候補であった親族全員から見放され、祖母はすでに80歳を超えていた。



緑のバキュームカーで市内を回る（中津清潔社）

「妊娠中だったこともあり、一度は断りました。でも祖母のことが心配で、10年ぶりに中津へ帰省したら、子どもの頃によく遊んでもらった社員さんがまだ働いていたんです。自分がここまで大きくなったのは、家業のおかげで、そこで懸命に働いてくれる社員の方がいたからこそ、今の自分があるということに気がきました」

自分たち家族の都合で、社員とその家族を路頭に迷わせる訳にはいかない。強く責任を感じた原さんは、生きがいでもあった仕事を辞め、家族とともに帰郷して家業を継ぐ決心をした。ずっと自分を応援してくれていた祖母を助けたい、という気持ちもあったという。

#### ■未知の業界で一から学び 社員や地域と絆を深めることから

中津を15年以上離れていて土地も人も人脈もなかった原さんは、社長の右腕として活躍できる人材を雇用し、顧客開拓や業界の情報収集などを進めてもらった。とはいえ、未知の業界でいきなり社長を務めるのは大変なことだ。いずれの業務も資格や経験が必要な専門職。しかも社員の大半が勤続10年以上、長い人は25年というベテランぞろいの中で、一から教わるにしてもハードルが高い。

そこでまず、社内でも地域でも、自分という人間を信頼してもらうことから始めなければと、社員一人ひとりと会話を重ね、現場の最新情報を理解するためお客様の家を回り、コミュニケーションを深めることに力を入れた。また実際の仕事内容を理解するため、作業の現場に同行し、社員に教えてもらいながら一つ一つ覚えていった。

今までの仕事と違い、デジタルと無縁の業界であることにも戸惑ったが、「他社がやっていないことをやりたい」と、SNS採用を開始することにした。ところが、そこに載せる社員の写真を撮りたいと言うと、みんなから断られてしまう。



浄化槽の清掃・保守点検には資格と経験が必要

「自分たちはプロとして誇りを持ってこの仕事をしているけど、人には知られたくない。子供がいじめられるかも知れないからって言われたんです。ショックでした。」

それならず、自分が前に出て発信しよう。そして、社員が胸を張って自慢できる会社に、成長させよう。その一心で原さんは「ファンづくり」を軸としたメッセージを発信し続けた。運用開始から1年で、採用応募数は3倍となり、社員間のコミュニケーションの活性化にも繋がった。

また、祖母の代には経営理念も社訓もなかったため、社員の声を聞きながら、会社の指針となる理念や行動指針を作り上げていった。健康経営やエコアクション21など、積極的に新たなことにも挑戦し、組織としての一体感も生まれつつある。

#### ■地域の放置空き家問題を解決する 新会社を創業

社員との会話が増える、多様なスキルをもつ人材が多いことに気付いた。左官や設備士、庭師などの専門職の経験やスキルを生かし、副業に取り組んでいる社員は半数にものぼる。

「もっと彼らの活躍の場を広げられないか。社内副業制度を確立させて、収入を増やせないかと思ったんです。そんな時、実家を空き家のまま残していたお客様から、お礼の電話をいただきました。詳しく話を伺うと、浄化槽の点検時に、水道管が破裂していることに気付いた社員が、応急処置まで施したようでした」

実家の空き家管理に悩む声は、日頃からよく耳にしていたことだった。この出来事がきっかけとなり、社員のスキルと、地域とのつながりを生かすことで、空き家問題解決の糸口を見出すことができるのではないかと、考え始めるようになった。

市内には放置空き家が4,200戸（総務省2018年住宅土地・統計調査）、そのうちまだ住めるのに放置されている家が約8割。空き家バンクや解体補助金など行政サービスも充実しつつあるが、片付けが大変、手放す決意がつかないなどの理由で、年々空き家は増加している。

高齢者や遠方に住む家族に代わって、そんな空き家の管理から片付けまでを行う新事業を立ち上げることにした。市にも相談しながら準備を進め、2023年10月、株式会社なかつ空き家管理サポートを設立。放置空き家が社会問題となる中、空家等特別措置法が改正され、管理不全空き家に指定されると固定資産税が最大6倍になることが決まったのも後押しになった（2023年12月施行）。

社員全員に、正しい知識と技術を身に付けてほしいという想いから、福岡の専門業者に弟子入りし、今



事業への思いを伝えるのも社長の大切な仕事だ



地域のお客様とのつながりが財産

では遺品整理からごみ屋敷清掃、特殊清掃まで幅広い対応ができるようになった。また、実家や留守宅を頻繁に管理できない人に代わり、空き家の防犯・老朽化対策のため定期巡回を行うプランも打ち出している。災害時の無料巡回や、庭の草刈り・剪定にも対応する。



空き家管理士が定期巡回を行う

単なる処分業者ではなく、どこよりも丁寧・誠実な対応をモットーに、依頼主一人ひとりの想いに寄り添い、きめ細やかなサービスを提供している。解体予定の空き家整理でも、家族が気持ちよく家とお別れできるよう、ハウスクリーニングまで施した上で、引き渡しているという。

目下、チラシを作成して広報活動に力を入れるほか、遠方に住む家族のためリモートで遺品整理ができる仕組み作りも進めている。今後はさらに分野を広げたいと、相続や不動産売買の相談にも乗れるよう、行政書士や宅建試験の勉強も続けているそうだ。

県の支援プログラムにも積極的に応募して新事業への思いを発表し、県のアトツギ伴走事業「GUSH！」では支援企業に採択された。地元のテレビ番組などでも紹介され、「最近では社員がSNSに写真を載せてほしいと言ってくるようになってうれしい」と笑顔になった原さん。

今年で創業58年。初代が始めたし尿処理業、2代目手がけた浄化槽清掃業、そして3代目が挑戦する空き家の清掃・管理事業。地域に根付き、地域社会のインフラを守る仕事を、今後も誇りを持って続けていく。

#### 企業データ

会社名	有限会社 中津清潔社 有限会社 寿浄化槽センター 株式会社 なかつ空き家管理サポート
代表者	代表取締役 原彩乃
所在地	中津市永添1150-1 TEL 0979-24-0755 (代)
創業	1966年(昭和41年)4月 中津清潔社
設立	1976年(昭和51年)4月 有限会社 中津清潔社 1990年(平成2年)8月 有限会社 寿浄化槽センター 2023年(令和5年)10月 株式会社 なかつ空き家管理サポート
資本金	800万円(3社)
社員総数	20名
事業内容	浄化槽の清掃・保守点検、産業廃棄物の収集・運搬、し尿汲み取り業、空き家の管理、遺品整理、生前整理
URL	https://nakatu.biz https://akiya-support.jp



有限会社 中津清潔社  
有限会社 寿浄化槽センター



株式会社  
なかつ空き家管理サポート